

参院選アピール(第2回中央委員会決議)

いよいよ参議院選挙！全国大会以降の教訓を生かし、展望を語り、強く大きな同盟をつくりながらたたかおう！新しい社会への大きな一歩をふみだそう！

2022年5月22日 民青同盟中央委員会

1、激動の情勢のもと、民青同盟が変化する青年と響き合ってきたことを確信にしよう

全国大会から5ヶ月が経ちました。民青同盟の様々な活動が、激動の情勢のもとで変化する青年と響き合ってきた。このことが実践によって全国各地で学習会をおこなうことも実感できる5ヶ月間だったのではないだろうか。

民青同盟は、ロシアのウクライナ侵略が開始されると、いち早く街頭で声をあげ、ロシアを国際的連帯で包囲する一端を担いました。「自分もなにかしたい」と青年が話しかけてきて、一緒に宣伝をしたり、加盟したりする経験が全国各地で次々とつづられました。自民党や維新の会がこぞとばかりに改憲策動

事だと思っただけで、前向きな反応があり、その同盟員が励まされ青年の見方を変化させるなど、草の根から新自由主義転換の力強い動きを発生させる条件づくりもなっています。聞き取りに協力してくれた青年が加盟する経験も生まれています。民青同盟としておこなってきた学生新歓運動で、新入生の困難に寄りかするべきかと思っただけ、苦しみ悩みながらも模索する青年の「生の声」は、社会を変える必要性とともに、一緒に社会を変えられる可能性を感じさせてくれるものでした。全国各地で、ためらいを乗り越えた同盟員が、周りの青年への聞き取りに踏み出しました。協力してくれた青年からは「こんなに政治のことを話したのは初めてだが大

裕がない。金銭のことや将来のことなど」「給料が上がらない。景気のいい話を聞かない。この停滞感を何とかしてほしい」「格差の問題はおかしいと思ってる。何とかするべきかと思う」など、苦しみ悩みながらも模索する青年の「生の声」は、社会を変える必要性とともに、一緒に社会を変えられる可能性を感じさせてくれるものでした。全国各地で、ためらいを乗り越えた同盟員が、周りの青年への聞き取りに踏み出しました。協力してくれた青年からは「こんなに政治のことを話したのは初めてだが大

2、日本と青年の未来を決める重要な選挙に民青同盟らしく取り組んで、青年のなかに変化を起こし、共産党躍進を引き寄せよう

(1) 参院選の意義とそれに民青同盟が取り組む意味について

参院選は日本と青年の未来を決める重要な選挙です。この選挙の意義及び民青同盟がこの選挙に取り組む意味とは何でしょうか。第一に、今回の参議院選挙は、9条を生かした平和外交に進む民意を示す選挙です。自民党とそ

参議院選挙に向けて決意固め合った 東京

民青同盟東京都委員会、日本共産党東京青年学生後援会などは15日、日本共産党本部で参院選に向けた「学習&交流キックオフ集会」を開きました(左写真)。共産党・東京選挙区候補の山添拓参議院議員の演説、共産党東京都委員会の香西克介青年学生部長からの情勢報告の後、各地域や学園、職場からの発言がありました。

山添議員は1つ目に、今度の選挙が平和と憲法9条がかかったとしても負けない選挙だとして、9条を生かした平和外交という声を、自信を持ってうたった。庄倒的に広げていきたいと話しました。2つ目に、自己責任を押し付ける「もろくて弱い経済」を大転換し、日本を「やさしく強い経済」にするチャンスだと話しました。3つ目に、若い世代が声を上げることが、社会に大きなインパクトを与えるとし、希望ある未来へと一緒に展開していく選挙にしていくことを呼びかけました。

続いて香西青年学生部長が報告しました。今度の参院選について、戦争か平和かーウクライナ侵略と日本の進路について問われる選挙、新自由主義から「やさしく強い経済」への大改革で、暮らしを守り日本経済を立て直すことが問われる選挙と報告。東京は政党を選ばず例を軸に激しい争いになっており、東京選挙区で日本共産党から立候補する山添拓さんの議席はかけがえない値打ちがあると語りました。180万人の東京の10代20代の有権者に政治を変えたい希望を届け、仲間を増やしながらたたかうことが必要だとうたった。

各地域や学園、職場からは、「私たち医療従事者は、患者さんの命、暮らしを守ることが仕事。真に平和な社会を実現するには、100年間国民の気持ちに寄り添い平和をうたった続ける日本共産党の躍進がどうしても必要」や「今年4月に民青に加盟した。社会的弱者、子どもの貧困の問題を、国が解決していかないといけないと思う。共産党の政策を真つすく広めていくことが、投票率の向上や共産党の支持拡大につながる」といった発言がありました。

参加者からは、「政府はもっと医療にお金を使うべきだ」という。山添さん以外も、共産党の人は話が分かりやすくってちゃんとしていると感じる。私たちも地域で青年に声をかけ合って宣伝に参加していきたい。「共産党は若者向けの政策がすごいけど、高齢者向けや社会福祉系の政策もいっぱいあるので幅広い層から支持を得られると思う」などの声も寄せられました。



参院選アピール(第2回中央委員会決議)



民青中央委員会と民青東京都委員会は共催で緊急宣伝を行った(2月28日、池袋)

よるウクライナ侵略を口... 9条を生かした平和外交を... 第二に、今回の参議院選挙は新自由主義からの転換に踏み出すかどうか問われる選挙です...

の生活がさらに圧迫され... 日本共産党の躍進が切実に求められている... 日本共産党の「外交ビジョン」は、ASEANが推進している東アジアサミット(EAS)という既存の枠組みを発展させることを中心とした...

も「社会主義は言い... 日本共産党の躍進... 日本共産党の躍進が切実に求められている... 日本共産党の躍進が切実に求められている...

「学生オンラインゼミ第二弾」で社会主義・共産主義を語る志位和夫・日本共産党委員長(4月17日)...



「学生オンラインゼミ第二弾」で社会主義・共産主義を語る志位和夫・日本共産党委員長(4月17日)

第一と第二に加えて、民青同盟として挑戦したいのは、今回の参議院選挙を、社会主義・共産主義という資本主義のさらけに先の展望について青年に知ってもらふ機会にするということ... 日本共産党の躍進が切実に求められている...

選挙の意義と取り組み... 日本共産党の躍進が切実に求められている... 日本共産党の躍進が切実に求められている...

日本共産党の躍進が切実に求められている... 日本共産党の躍進が切実に求められている... 日本共産党の躍進が切実に求められている...

日本共産党の躍進が切実に求められている... 日本共産党の躍進が切実に求められている... 日本共産党の躍進が切実に求められている...

日本共産党の躍進が切実に求められている... 日本共産党の躍進が切実に求められている... 日本共産党の躍進が切実に求められている...

「学生オンラインゼミ第2弾」がブックレットに!

『科学的社会主義Q&A 学生オンラインゼミで語る』 6月1日発売! 400円

発行: 日本民主青年同盟中央委員会 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-20-2 TEL:03-5772-5701 Mail:info@dylj.or.jp HP:www.dylj.or.jp



※お近くの日本共産党事務所でも取り扱っていますので、お問い合わせください

参院選アピール(第2回中央委員会決議)

第二に、学習を思い切っ
てすすめること。同
時、「学生オンラインセ
ミ第二弾」はウクライ
ナ侵略、世界観、搾取の仕
組み、未来社会論などにつ
いて共産党の志位委員長
自らが語る画期的な企画
となりました。「社会主
義のイメージが変わった」
「社会に対する解像
度が上がった」「学びが
いのある、奥の深い中身
だった」など前向きな感
想が出されています。同
盟員として前向きに活動
していくうえで、参院
選に生きいきと取り組む
うえでも、「学生オンラ
インセミ第二弾」はこれ
以上の学習教材となり
ます。今ある動画とも
に、5月末には加筆・補
正されたブックレット
「科学的社会主義Q&A」
も発行予定です。参
院選に向かうなかでこれ
らを学習の主軸としなが
ら、学習セミナーや班会
での学習を進め、学びな
がら選挙をたたかいまし
よう。すべての同盟員が
「学生オンラインセミ第
二弾」の視聴かブックレ
ットを讀んで選挙に臨
むことを目指します。学
んだことを周りの青年に
発信したり、周りの青年
とともに学んだりするこ
とも大切にしましょう。

第三に、大会決議に基
づく同盟員拡大の独自追
求を改めておこなうこと
です。先にも述べた通り、
同盟員拡大は青年の
変化と全国の努力によっ
て、この間にない拡大数
となっっています。同時
に、全国の拡大目標達成
との関係ではもうひと踏
ん張りが必要な状況で
す。大会決議は、「(i) 班
目標を決める、(ii) 班
や同盟員の結びつきを書
き出し、対象者名簿をつ
くる、(iii) それぞれの
青年がどのような願いを
もっているかつかみ、
(iv) その青年が民青に
加盟する意義をよく交流
する、そして(v) 知る
会の約束をとり、(vi)
加盟呼びかけ文を活用し
て加盟を訴えましょう」
と提起しています。これ
を引き続き太く貫くこと
です。「決議に書かれて
いることをやったら仲間
が増えました」「独自追
求のところがそのままや
ったら増えたので、すご
い」などの声があがって
います。全国で心ひとつ
に、決議に基づき拡大の
独自追求をおこなうこと
が、目標達成への道で
す。青年とつながる機会
の多い選挙のたたかいは
なかでこそ、独自追求を
強めて仲間を迎えまし
よう。

第四に、役員が方針討
議・実践の先頭に立つこ
とです。決定に基づく役
員の奮闘は、「班が主人
公」をつくりだす大きな
力になっていきます。「生
の声」運動は役員がまず
取り組むことよって全
体としての取り組みが進
みました。学生新歓運動
の学生同盟員の立ち上げ
りには、役員が新歓論文を
正面から討議して行動を
提起したことをつくられ
ました。週一回の班会開
催も、その方針を提起す
る役員が存在が決定的で
した。大会決議は4章
(2)で、都道府県・地
区委員とともに、役員と
しての班長・班委員の活
動を位置付けています。
あらためて大会決議に立
ち返り、役員は活動を見
直し発展させましょう。

具体的取り組みの行
動提起は以下の通りで
す。3章までの内容を踏
まえつつ、心ひとつにや
り抜きましょう。

①「変えよう決
議」をあげて「班
かおっ——全
同盟員が立ち
上がる選挙に
上る選挙に
——参院選ア
ピールを討議し、
すべての班で「日
本共産党と一緒に
変えよう決議」
をあげよう。役
員が先頭に立っ
て宣伝・対話を
実践し手伝える
ことを目指しまし
よう。

②「地域・職
場・学園で共
産党支持の草
の根を広げよう
——草の根か
ら宣伝・対話を
広げよう、変化
をつくり出せよ
——地域・職場・
学園に根ざして、
そこにいる青年
すべてを視野に入
れた宣伝をおこし
よう。共産党支
持を広げよう。役
員が先頭に立っ
て宣伝・対話を
実践し手伝える
ことを目指しまし
よう。

③「学習し、展
望を
示しながらも
に
取り組む選挙
にしよう——学
ぶ
ことと民青同盟
員らしくたたく
選挙に
——すべての班
で参院選ア
ピールを討議し、
わか
らないことにつ
いては、
互いに学習理解
を深めよう。選
挙に向けては、
内容を強化され
る民青新聞も
この機会に購読
をすすめて大き
な力に活用しま
しょう。

班をどのように発展させ
義という展望を青年に伝
えられるかどうか、この
点でも民青の存在が欠か
せません。いま、民青同
盟が強く大きくなること
が極めて重要な情勢で
す。強く大きな民青をつ
くらねばならない民青は
ある。参院選で共産党
の躍進と、青年の大きな
変化を勝ち取りましょ
う。

③「学習し、展
望を
示しながらも
に
取り組む選挙
にしよう——学
ぶ
ことと民青同盟
員らしくたたく
選挙に
——すべての班
で参院選ア
ピールを討議し、
わか
らないことにつ
いては、
互いに学習理解
を深めよう。選
挙に向けては、
内容を強化され
る民青新聞も
この機会に購読
をすすめて大き
な力に活用しま
しょう。

4、参院選で役割を果たすための 行動提起

班の「日本共産党と一緒に変えよう決議」

参院選アピール(第2回中央委員会決議)を討議し、班の「変えよう決議」をつくろう！

1: 2章(1)を讀んだ感想をみんなとよく交流しよう！

2: いまの政治を変えたい思い、実現したい願いを交流しよう！

3: 共産党を躍進させたい思いを交流しよう！

4: 班で「変えよう決議」を上げるために班の基礎数を確認しよう。班の過半数の同盟員からの賛同を得て、班で「変えよう決議」を上げよう！

5: 賛同した同盟員の人数を確認して議決し、共産党について学びながら賛同する同盟員を広げよう！

★参院選に向けて対話・支持拡大目標を決め、宣伝活動の具体化や結びついている友達、仲間への働きかけに踏み出そう！

▲中央委員会作成の「日本共産党と一緒に変えよう決議」シート(表面)

現代と日本の進路を照らす理論政治誌

前衛

発売中 6月号 No.1014 定価744円(税込) 送料95円

購読のお申し込みは、お近くの日本共産党の事務所、または下記へ
日本共産党中央委員会出版局/電話 03(3470)9636 FAXの場合は03(3470)1505
〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7

新自由主義を転換し、
やさしく強い経済を
実現しよう

ロシアのウクライナ侵略と日本共産党の立場

志位和夫著『新・綱領教室』のすすめ

特集 沖繩復帰50年が問われているのか

復帰にこめた平和と命への思いと
女性たちのたたかい

沖繩問題の核心としての米軍基地の問題

国家や法は、誰のための、何のために存在するのか

日米地位協定の抜本的改定に向けて

なぜ沖繩に子どもたちの貧困は
居座り続けたか

山野良一 二宮元

新自由主義的の改革を転換し、
じっくり教育・研究できる大学へ

いまこそ校則を変えられるチャンスへ

みんなて考えみんなて変えていく取り組みを

知的障害者とその家族の貧困

水素アンモニア燃料は気候変動対策の切り札か

「赤旗」と日本共産党を語る(下)

高校生活は日本国憲法をどう見ているか(下)

高校生憲法アンケート2020「集計結果報告」

小本曾陽司/山本豊彦/米倉春奈

波岡知朗

同窓対談
平和、ジェンダー平等——憲法は力
にひそめ

角田由紀子(井野)

にひそめ

参院比例代表選挙候補(井野)

小松健一

暮らしの焦点
枯葉剤原料の国有林埋設問題 川辺隆史
矛盾と破壊は明瞭 外環道工事はただちに中止を とや英津子
メディア時評
「新聞」戦況報道と「抑止力」の大合唱 千谷四郎
「テレビ」表現の自由への放送の姿勢 沢木啓三

『前衛』購読申し込み書 6月号 ●定期購読 どちらかに○を

お名前 _____ 住所 _____
〒 _____ 番 _____ (_____) _____ 番 _____

ハガキにはって、またはFAXで上記へお送りください。